

業平の週間ブログ

14年7月2日 安全圏い

第一面で報じたが、タイヤ整備作業の現場では、空気充てん時の事故が未だ後を絶たない。万が一、作業中に事故が生じても、安全圏い(セーフティケージ)を使っていれば受けるダメージは大幅に軽減される。もっとも作業の中には、それにより工程にひと手間増えることに抵抗を感じているようで、普及にはまだ道半ばというところ。しかし、本紙でタイヤセレクト八千代の取り組み事例を紹介したように、実際は安全圏いと自動空気充てん機のセットを使用したほうが作業時間は短いことが実証されている。また、タイヤ整備機器のメーカー・サプライヤー側も、啓発活動を積極的に行い、同時に使いやすい機器の開発に鋭意取り組んでいる。

過般、東洋精器・横浜研修センター(横浜市都筑区桜並木12-12)を訪ねた。タイヤ整備の安全性と作業品質の向上に取り組む同社が、もっとも注力している分野の一つがこのタイヤ空気充てんに関する機器だ。上霜和訓取締役も「作業の安全・安心に対する意識、コンプライアンスへの意識が高まっており、空気充てん時に使用する機器への関心が強まっている」と指摘する。また、事業所内にとどまらず、出先でも使用可能な機器・システムへのニーズも強くなっているという。それに対応する製品として、同社では「セーフティバッグ」を上市している(写真右、本紙では2010年7月に掲載済み)。さらに最近では、乗用車・トラック・バス用の「移動式簡易ケーシング」(写真左)を上市。ポータブルタイプの自動空気充てん機とのセットで、出張サービス時の安全作業と作業効率向上を図っている。

このような整備機器業界の取り組み、さらには組合を中心となつて行うタイヤ空気充てん業者特別教育講習会を通じ、安全作業への意識が高まっているのは事実。だが、消費財をメインとする販売店などではそれが浸透し切ったと言える状況にはまだ至っていない。業界を挙げ、継続的に取り組むことが求められる。



26年ぶり理事長交替 荒井理事長から皆川理事長に

茨城県タイヤ商工業協同組合



茨城県タイヤ商工業協同組合は6月29日、鉾田市の「いこの村酒造」で第44回通常総会を開催。平成25年度事業報告、決算報告ならびに監査報告、平成26年度事業計画および予算案、定款一部変更の件など各事案について審議し、原案通り承認、可決した。

今回は役員改選期のため新役員を選任。昭和63年(1988年)から26年間理事長を務めてきた荒井英雄理事長が退任し相談役となり、後任として、これまで副理事長(兼青年部長)だった皆川彦一氏が理事長に就任した。

副理事長には小澤敏一氏が重任、木村秀氏が新任となった。青年部は荒井氏が青年部長として引き続き継ぐことが報告された。

荒井氏は昭和9年7月生まれ、日立支部長、副理事長、理事長と組合役員歴は通算40年に及ぶ。また昭和39年(1964年)に自身がタイヤ店を独立開業してから今年でちょうど50周年。その大半を組合活動とともに歩んできたことになる。その大きな節目に、組合のリーダーシップを後進に託した。



日本中古タイヤ輸出業者協議会
日本中古タイヤ輸出業者協議会が6月25日、東京・日比谷公園の松本楼で第18期総会および懇親会を開催した。全国から中古タイヤの輸出のエキスパートが参集し、世界のタイヤ市場の現状や取引状況について情報交換を行った。

【写真はその時の集合写真】

ためには何が出来るかをテーマに微力ですが努力していきたい」と挨拶した。

■新役員(敬称略)

▽理事長 皆川彦一▽副理事長 小澤敏一、木村秀

▽会計理事 堀克幸▽専務理事 岡村耕一▽会計監査

員 黒沢明治、荒井寛▽理事

相談役 黒沢輝一、荒井英雄▽理事 深谷金徳、高山

栄彦、池野辺正夫、増田義

布、猪瀬雄司、林次郎、小

野由紀夫、小松崎裕康

東洋ゴム工業は6月23日、北米タイヤ事業統括会社 Toyotire Holdings of Americas Inc. の水谷友重社長(写真)が、南カリフォルニア日米協会より国際市民賞を受賞したと発表した。授賞式は6月17日にカリフォルニア州バリーヒルズにあるバリーウィルシャーホテルで行われた。

東洋ゴム 水谷氏が国際市民賞

に活動する非営利団体「南カリフォルニア日米協会」が主催する表彰制度で、日米関係に貢献した個人・団体に対して授与されるもの。政府関係者や文化・スポーツ功労者、企業家などから選出され、過去には豊田章一郎氏や稲盛和夫氏が受賞している。

水谷社長は、全米日系人博物館や日米協会への支援活動を行ってきたことや、米国で日系社会の発展に貢献してきた人々の偉業を伝えるドキュメンタリーフィルムの制作を行ってきたことが評価された。

皆川氏は昭和44年生まれで、荒井氏とは35歳差。まさしく同組合が世代交代の道を選択したものである。

荒井氏は「無我夢中で半生を傾けてきた。それが自分の仕事の上でもものすごくプラスになったと話す。今後、相談役として皆川新理事長の補佐役に回るが、災害協定締結に向けた取り組みに意欲を示す。茨城県は東日本震災の被災者でもあり、そのときの組合員

の被災状況等について詳細な記録を残している。皆さんの了承を得られれば、すぐにも動きたいと思っ

ている」と語った。

「組合の皆様が築き上げてこられた実績と信頼を継ぎ、次につないでいきたいと思っ

ている。今回選任された役員、組合員の皆様、組合員様の2代目、3代目の若い方々にご協力をいただきながら、組合のため、組合員様の事業が反映する

月稼働開始の予定。生産能力は年間約1万6千トン。総投資額は11億3千万円(約35億円)。

JSR インドネシアの精練工場開所 タイに次ぐアセアン第2拠点

JSRの連結子会社である弘一社長JSR専務執行役員、略称Emixはインドネシアジャワ州カラワン県にカーボンマスターパッチ(CMB)を生産するゴム精練工場を建設、6月19日現地で開所式を行った。

同工場はエラストミックスが75%出資する現地企業との合弁会社。合弁会社名は「PT. ELASTOMIX INDONESIA」(宮崎知巳社長)。資本

金900億ルピアで昨年7月に設立した。その後新工場の建設を始め、精練工場が今年3月に完成し、4月から商業生産を開始した。導入設備は9号パンバリー(混練機)1基で、年間生産能力は9000トン。

エラストミックスグループにおいて、アセアン地域でタイに次ぐ第2拠点。

新会社は資本金3億8千万ルピア(約12億円)。出資比率は帝人フロンティア56・66%、帝人10%、綾羽33・34%。6月に会社設立、9月に着工し2015年10

タイに新工場建設 帝人グループ

帝人グループは、タイにタイヤコードの新工場を建設する。ポリエステル繊維

の生産拠点であるタイジン(タイランド)社(アユタヤ県バンブイン工業団地内の敷地内)に、タイヤコード生産で実績のある綾羽

と合弁会社「ティジン・F.R.A. タイヤコード(タイランド)」を設立し、燃焼系製織、接着加工の各工程を有するタイヤコード生産工場を新設するもの。

新会社は資本金3億8千万ルピア(約12億円)。出資比率は帝人フロンティア56・66%、帝人10%、綾羽33・34%。6月に会社設立、9月に着工し2015年10

四季折々

○：福山雅治さんが4月にリリースした「クスのノキ」の歌は、69年前の終戦直前に長崎に投下された原爆をテーマとして

クスのノキ

年輪からみて樹齢100年以上は確かだろう。根元から太い幹が三方に分かれた姿には、たならぬ生い立ちが偲ばれる。思い返せば、人の営みが、いかに弱く小さく感じられて仕方がない。(蔵)



クスのノキ

年輪からみて樹齢100年以上は確かだろう。根元から太い幹が三方に分かれた姿には、たならぬ生い立ちが偲ばれる。思い返せば、人の営みが、いかに弱く小さく感じられて仕方がない。(蔵)



長持ちする 低燃費タイヤ。



エナセーブ EC203



月に一度は空気圧の点検を!

0120-39-2788

http://tyre.dunlop.co.jp/

ダンロップ 検索

